

2014
January

学生だより

vol.34

発行人/金澤 紀子 発行/公益社団法人 日本歯科衛生士会
〒169-0072 東京都新宿区大久保2-11-19 TEL.03(3209)8020 FAX.03(3209)8023 <http://www.jdha.or.jp/>



知性と感性を磨こう



鶴見大学短期大学部 歯科衛生科



穴吹医療大学校 歯科衛生学科



北海道歯科衛生士専門学校



太田医療技術専門学校 歯科衛生学科

M e s s a g e

多職種と連携できる歯科衛生士を
目指して

公益社団法人 日本歯科衛生士会
副会長 久保山 裕子

高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援を目的として、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムが推進され、歯科衛生士も今後ますます多職種と連携して仕事を行うようになると思います。

歯科衛生士としての知識や技術を生かし、社会の必要に応えるためにはコミュニケーションが欠かせません。職種による専門用語の違いや、物の見方、判断する方法など、異なる場合もあります。専門性を発揮するためには、聴く力や他の人にわかりやすく伝える力が必要となります。学生生活や臨地実習の中で、多くの人と接し、積極的にコミュニケーション力を高めてください。

輝け 未来の 歯科衛生士

学 生
紹 介

歯科衛生士を目指したきっかけはそれぞれですが、皆さんは、学校ではクラスメイトと助け合いながら講義、実習を頑張ってきました。3年生になると、歯科衛生士としての将来像もはっきりとしてきているようですね。さらに学びを深め経験を積み、患者さんに信頼される歯科衛生士になってください。応援しています。



岐阜県立衛生専門学校
歯科衛生学科 3年
まつおか りつこ
松岡 亜衣子さん
岐阜市内 県立高校卒業

1 Answer 幼い頃、「歯科医院＝怖い」というイメージでしたが、通院していた歯科医院の歯科衛生士がいつも笑顔で優しく対応してくださり、安心して治療を受けることができました。そして、いつしか歯科衛生士の仕事に魅力を感じ、私も「患者さんに安心して治療を受けてもらえるような歯科衛生士になりたい」と強く思うようになりました。

2 Answer 「歯科医師のサポートおよびブラッシング指導を行う、優しくて清潔感のある歯医者のお姉さん」というイメージでしたが、歯科衛生士業務を学ぶ中で、う蝕や歯周病予防になくはならない存在であること、また、幅広い職種と関わり、多くの場で活躍できることを知り、歯科衛生士により一層憧れを感じました。

3 Answer 日々、先生方から、挨拶や礼儀といった社会人としてのマナーを厳しく指導されていますが、人として成長することができ感謝しています。臨床実習は毎日大変でしたが、患者さんと関わりを持つことで、授業では学ぶことができなかった多くのことを得ることができました。すべてにおいて、本当に充実した学校生活を送ることができました。

4 Answer 治療に対する緊張や恐怖を取り除き、安心感を与えられるような歯科衛生士になりたいです。また、総合病院への就職も決まったので、特に全身疾患と口腔との関係について知識および技術を深め、常に向上心を持って「必要とされる歯科衛生士」を目指して頑張っていきたいです。



1 Answer 専業主婦をしていた時、将来性のある資格が欲しいとずっと考えていました。また、医療に携わりたいという思いから歯科助手として歯科医院に勤務しました。そしてその職場で、結婚後も勤務している歯科衛生士さんに出会い、生涯活用できる資格であると教えていただいたのがきっかけで歯科衛生士を目指すことになりました。

2 Answer 以前は、歯科医師のアシスタントや口腔ケアをするだけの職業だと思っていました。しかし、勉強をしていくうちに、歯科衛生士は、経験を重ねキャリアアップすることで、活動分野が広がる職業だとわかりました。お口の健康作りをサポートすることで、全身の健康につながり、患者さんと喜びを共有できるやりがいのある仕事だと感じています。

堺歯科衛生士専門学校
3年
まえだ まなみ
前田 愛美さん
大阪府立箕面東高等学校卒業後、
整骨院と歯科医院にて受付・助手の
アルバイト勤務



3 Answer 学校での勉強では、口腔や全身の勉強に加え、心理学や秘書学など、様々な分野の勉強をしてきました。そして、臨床実習にでたときに、基礎知識がとても重要であること、また心理学などは、患者さんを第一に考える上で、とても大切な勉強であることがわかりました。今まで学んだことを振り返ると、どれも歯科衛生士を目指す上で、欠かせないものであることを実感しています。

4 Answer 私は、いつも笑顔で明るく、患者さんの不安を少しでも和らげ、「あなたがいると安心する」としてもらえよう歯科衛生士になりたいです。そのために、今からできることとして、コミュニケーション能力と、聴く力を日常生活の中でも心がけ、口腔ケアだけでなく、心のケアも行えるような歯科衛生士になれるよう頑張りたいと思います。



アンケート内容

Q1 歯科衛生士を目指した動機

Q2 今までの歯科衛生士に対するイメージ

Q3 学校生活について

Q4 将来どんな歯科衛生士になりたいですか？



ユマニテック医療福祉大学
歯科衛生学科 3年

かわい ち あき
川井 千明さん

養護教諭免許取得後、学童保育施設に勤務。その後、歯科医院にて歯科助手として勤務



1 Answer 私は、以前大学で予防医学について学び、養護教諭免許を取得しました。その後、子どもたちと関わるうちに、子どもたちの口腔内にう蝕が多いことに気が付き、歯科の分野に興味を持ちました。今まで勉強してきたことも生かせる職業だと分かり、生涯の仕事として歯科衛生士を目指すことを決意しました。

2 Answer 歯科医院でスクレーピングやTBIを行い、時には歯科医師のアシスタント業務まで行う何でもできる人というイメージがありました。学校での勉強や臨地実習を通し、業務内容も自分が思う以上に幅広く、歯科衛生士は口腔のスペシャリストであることが分かりました。今の社会に大きく貢献できる職業であると感じています。

3 Answer 入学前は、年齢の違うクラスメイトとの学校生活に、不安を感じていました。また、入学後は勉学の面でも想像以上に学ぶべきことが多くあり、毎日時間に追われる日々でした。しかし、その中でも、私を受け入れてくれた仲間たちと共に、悩み支え合いながら過ごしてきました。とても貴重で、充実した日々を過ごしていることに感謝しています。

4 Answer 患者さんの持つ悩みや不安は、人それぞれですが、そうした時に、安心して気軽に質問や相談をしていただけるような歯科衛生士になりたいと思っています。そのためには、常に自分もスキルアップしていくことが、求められます。さまざまな場で活躍されている先輩方を見習い、努力を怠ることのないように努めていきたいです。



つくば歯科衛生専門学校
3年

ふくだ
福田 いづみさん

茨城県立下館第二高等学校卒業



1 Answer 歯科衛生士という職業を知ったのは、高校生の時でした。当時の私は、なんとなく高校生活を送っていましたが、そんな時友人が、歯科衛生士という職業を教えてくださいました。そして幼い頃、歯科医院が大嫌いだったのですが、歯科医院の方々が、幼い私にとても優しく笑顔で接してくれたのを思い出し、私も患者さんに笑顔で接し、患者さんの心を和ませることができる歯科衛生士になりたいと思いました。

2 Answer 専門学校に通うまでは、助手と歯科衛生士の違いは分かりませんでした。しかし、学校でいろいろなことを学んでいくうちに、歯科医院だけでなく、多くの場所で活躍できることや、歯科衛生士にしかできない仕事があることがわかり、今は、歯科衛生士の仕事に、とても魅力を感じています。

3 Answer 1、2年生のころは、難しい講義ばかりで、歯科衛生士になることは、とても難しいなあと感じました。しかし、相互実習などや、臨床実習が始まってから、実際に患者さんとのふれあいや、先生やスタッフの方々のアシスタントにつかせていただいて、やりがいを感じるようになりました。そして、一緒に辛い実習を乗り越えてきたクラスメイトがいたから、私はここまで頑張ることができた心から思います。

4 Answer 患者さんが、快く診察を受けられるよう、相手の気持ちになって考え、自分がされたら嫌なことはしない、そして楽しいことは進んで行く、そんな相手の気持ちを理解できる歯科衛生士になりたいです。また、診療がスムーズに行えるよう、常に先読みして、テキパキとした行動ができる歯科衛生士になりたいです。



学校法人 穴吹学園
穴吹医療大学校 歯科衛生学科



~1年次~
はじめまして! 顎模型



~2年次~ 戴帽式



マネキン実習室
授業風景



~学年間~ 合同実習



穴吹祭



父の日、母の日
模擬感謝実習

本校は、2007年に穴吹学園高松9校目の専門学校として開校しました。歯科衛生学科と共に看護学科(昼間・通信)など医療系の5学科が併設された学校です。
「ホスピタリティーを持つ、命を大切に、プロフェッショナルになる」を学科理念とし、学園の教育理念である「地域に貢献できる人材の育成」を目指しています。また、先日行われた高松9校共同の穴吹祭では、野外のステージでカラオケ大会や模擬店出店などが行われ、今しかできない学生らしい時間を存分に楽しんでいる様子でした。
“うどん県、それだけじゃない香川県”にお越しになった際は、ぜひお立ち寄りください。



太田医療技術専門学校 歯科衛生学科



球技大会



輝く女性学



テーブルマナー研修会



戴帽式



保健指導



本校は6学科からなる医療系の総合学園なので、近隣だけでなく広域から学生が集まってきます。その中で歯科衛生学科は5年目の新しい学科です。学校全体でのイベントも多く、他学科との交流授業もあります。人の一生に関わることのできる歯科衛生士として、知識と技術を持つことはもちろんですが、ホスピタリティを備えた輝く女性を目指して、毎日奔走しています!



部活や校外研修、被災地支援等、活動的の幅を広げています



歯科衛生学科

卒業式





鶴見大学短期大学部 歯科衛生科



マスコット
キャラクター
つるみん



記念館

マスコット
キャラクター
つるたん



歯学部附属病院

図書館



臨地実習



臨床実習



学内実習



短期大学部は歯科衛生科および保育科からなり、今年創立60周年を迎える歴史のある学校です。同じキャンパス内に文学部・歯学部もあり、図書館は質・量とも全国トップレベルにあります。禅の教えである「歯を磨くことは心を磨くこと」が教育の基本です。先進医療を担う歯学部附属病院や歯科診療所での臨床実習が充実しています。



学校法人 札幌青葉学園

北海道歯科衛生士専門学校



幼稚園にて媒体発表実習

屋上で焼肉パーティ



宣誓式



学校祭



身内モデル患者実習



研修旅行の1コマ



運動会

マネキン実習



本校は平成19年に開校し、今年で7年目を迎えました。最新の設備を整えており、本校独自の講義と臨床実習の一貫教育、実習システムで、資格取得後は即戦力となる歯科衛生士の育成を目指しています。臨床実習も充実しており、有床歯科施設で全身麻酔下での歯科治療や、看護師、歯科技工士とのチーム医療を学ぶことができます。また、道内で唯一の夜間部があり、働きながら資格取得を目指している学生も多数在籍しています。

ホームページがありますので、ぜひ一度、ご覧ください。

<http://hokkaido-shikaeiseishi.ac.jp>



出会いこの人

FILE 12

謝花 綾乃さん
(沖縄県歯科衛生士会)
沖縄南部徳洲会病院

今回、紹介致します謝花綾乃さんは、明るく元気で、学生の頃からクラスのリーダー的存在でした。卒後も、仕事・家事・育児と、忙しいながらも自己研鑽を怠らず、仕事に誇りとやりがいをもって臨む姿はとても輝いています。「どのような状況下にあっても情熱とやる気があれば道を切り開ける」と、それを実践しているステキな歯科衛生士です。

歯科衛生士を目指したきっかけ

私が、歯科衛生士を目指したきっかけは、高校3年生になって進路に悩んでいる際、先輩から「歯医者さんでアルバイトしてみない？」と誘われた一言からでした。最初は、白衣がかわいいし、器具を洗うだけという軽い気持ちでした。ところが、いざアルバイトをしてみると、器具の名称や治療内容、患者さんへの対応など、学ぶことがたくさんあり、歯科の仕事のおもしろさにあっという間にのめり込んでいきました。また、患者さんとのコミュニケーションの大切さを知るとともに、楽しさを感じるようになりました。当時の医院長からは、「相手の気持ちを考え、感じとることのできる歯科衛生士になりなさい」と、心に響く言葉をいただきました。私は、その言葉を胸に、不安よりも期待を抱いて歯科衛生士を目指すことを決意しました。

仕事の内容

私が勤務する沖縄南部徳洲会病院は、診療科20科、ベッド数345床の総合病院で、口腔外科には歯科医師2名、歯科衛生士3名が勤務しています。私は、口腔外科ではなく、介護棟(デイケア・デイサービス)で働いています。「医療保険」ではなく、「介護保険」の口腔機能向上加算、要介護は月150単位(2回)、要支援は月150単位(1回)でケアの指導を行い、入院病棟では口腔ケアを行っています。経口摂取している患者さんのケア(残存歯多数のケア・義歯:FD・PDのケア)や胃ろう・NG(経鼻栄養)の患者さんの

ケアをするために、歯科医師・歯科衛生士・看護師(リンクナース)・介護士で「口腔ケアチーム」も立ち上げました。午前中は病棟で入院患者さんの口腔ケア、午後はデイケア・デイサービスで利用者さんの口腔ケアを行っています。



やりがい・魅力

仕事のやりがいや魅力は、6つあります。1つ目は、患者さんからの「ありがとう」「すっきりした」「気持ちよくなった」という言葉が、一番嬉しいです。2つ目は、デイケア・デイサービスの利用者さんが、健口体操、発声訓練などを行い、食事形態がアップしたときです。3つ目は、病棟で他職種のスタッフに、歯科衛生士の存在と「口腔ケアの大切さ」を理解していただいたことです。4つ目は、これまで、歯科衛生士がなかなか介入できなかった摂食・嚥下チーム、NSTチーム(栄養サポートチーム)に参加できたことです。5つ目は、高齢者の誤嚥性肺炎をなくすためには、「口腔ケアが大切」であることを、他職種の皆さんに理解してもらえたことです。6つ目は、一般歯科では経験できない病院という大きな組織で、他職種の方々とともに勉強できることです。



学生さんへのメッセージ

私が卒業した当時は、就職先は一般歯科か病院の口腔外科しかありませんでしたが、現在は、多くの病院やデイケア・デイサービス等にも介入できるようになりました。これまで学ぶことのなかった福祉や、歯科以外の多角的な知識を学ぶことで、職域の幅が広がっています。超高齢社会が進む中、「福祉」という視点を持ちながら、すばらしい歯科衛生士を目指してください。



Profile

プロフィール



じゅ はな あや の
謝花 綾乃さん

1996年
沖縄歯科衛生士学校卒業

1996年4月～
開業医勤務

2007年8月～
沖縄南部徳洲会病院 通所リハビリ勤務

*写真はご本人の了解を得て掲載しています

歯科衛生研究にチャレンジしましょう!

歯科衛生研究をすることによって、自分自身の知識や経験が整理されるとともに、歯科口腔保健全般の事がらや、状況を把握することができます。またさらに、興味や疑問もわいてくると思います。研究を行う場合、工程がありますのでその順序に従って進めていくことが大切です。下記に示す図書を参考にするとよいでしょう。日本歯科衛生学会学術大会では、口演・ポスター発表がありますので、ぜひ歯科衛生研究にチャレンジしてください!

九州看護福祉大学口腔保健学科の樋口瑛里子さんは、平成25年9月に神戸国際会議場で開催された「日本歯科衛生学会第8回学術大会」で、先生方のご指導のもと、日ごろ取り組んでいるボランティア活動についてポスター発表をしました。

- 参考図書:1)「歯科衛生研究の進め方 論文の書き方」医歯薬出版(2007)
2)「わかりやすい歯科衛生士学生のための卒業研究ガイドブック」ドラッグマガジン(2007)

『東日本大震災学生ボランティアを経験して』活動報告 九州看護福祉大学 口腔保健学科

本学では、2011年8月から、学生による東日本大震災のボランティア活動を行っています。口腔保健学科の学生たちもこの活動に参加しており、今回その様子を、日本歯科衛生士学会第8回学術大会でポスター発表を行いましたので、報告をいたします。

ボランティア活動報告

震災発生から半年後の2011年8月は、がれき撤去は終わっておらず、壊れた家があるままの形で残され、「今までここには誰かの生活があった」ということが、想像できないほどでした。現状把握や被災者の心のケアにつながるように、悩みや困ったことについて傾聴した結果、「介護が大変」「風評被害」「地域情報や正しい情報が入らない」「口の中まで気にする余裕がない」「口腔内が乾燥する」等の悩みがありました。一方、近接した仮設住宅での慣れない生活や急激な環境の変化によるストレスで、心身に大きな負担を感じているように思えました。



がれきの山

震災発生後1年の2012年3月は、少しずつ復興されていましたが、地域により復興状態に差がみられました。サロン事業が定着し、仮設住宅の中でのコミュニティ作りという狭い範囲のものから、仮設住宅の住民と地域の住民とをつなぐ広い範囲での事業へと、変化しつつありました。ケアイベント等で、足湯をしながら唾液腺マッサージをしたり、サロン事業の中に「あいうべ体操」を取り入れたりしながら、被災住民の方とのふれあいを通して、さまざまな悩みや思いを聞くことができました。このとき、住民の方が心の中の思いを話してくださったのは、福島のこと、地域のことを伝えたいという気持ちが強いからだと思いました。

震災発生から2年半経った2013年8月には、原発周辺以外の場所は、がれきはほとんどなく、元の生活に戻っているような気がしました。しかし、被災者の方の話を聞くと、仮設住宅に住む大変さや、自分の家に帰ることのできない辛さやストレス、悩み等

は、まだ解決できていないように感じました。また、「警戒区域」が解除されたばかりの海沿いの地域には、以前、集合住宅があったと聞いていましたが、現在はなくなっており、震災前の風景を感じ取ることはできませんでした。さらに、原発周辺は、まだがれきに手をつけられておらず、2年半前から時間が止まったままのようでした。除染物の袋も数えきれないほどありました。

被災者の方が、いろいろな思いがある中、私たちに話をしてくれたのは、もっと震災についてや福島について、知ってほしいという気持ちの表れだと感じました。

このような活動を通して、私たちにできること、それは被災者の方の心に寄り添うことではないだろうかと思いました。そして、もっと人の思いを感じなければならぬとも思いました。

今後、私たちは歯科衛生士として、口腔保健を担うものとして、患者の方々や様々な人に出会うと思います。どのような状況下でも、「こころ」を大切に、また、「人の気持ちを感じとる力を養えるよう頑張る前に進んでいこう」と思いました。



ケアイベント 1・2回参加 樋口

学会発表を経験して

本学では、学園祭や地域イベント等で、被災地の状況やボランティア活動内容を多くの人に知っていただくために、毎回報告会を行っています。昨年は、1回目と2回目のボランティア活動を通して学んだことを、日本歯科衛生学会第8回学術大会にて、ポスター発表し報告しました。多くの方々の前で、自分の経験や学んだことを発表することは、とても緊張しました。また、準備段階では、なかなか自分の想いを言葉にすることが難しく大変でしたが、本当に良い経験となりました。この発表をきっかけに、目標を持って様々なことに、挑戦していきたいと強く思いました。



学会にてポスター発表(左から井上、樋口、中村)



ケアイベント 5回参加 井上、中村



JAPAN DENTAL
HYGIENISTS' ASSOCIATION

入会の申し込みは…

簡単 4Step!

Step 1

ホームページから簡単申し込み!
入会申し込みフォームに入力します

※ホームページを閲覧できない方は
各都道府県歯科衛生士会
もしくは日本歯科衛生士会まで
ご連絡ください
(☎0120-802039)



Step 2

都道府県歯科衛生士会から
必要な書類が送付されます



Step 3

入会金・
会費などを
支払います



Step 4

入会完了



会 費

年会費は、いつ入会しても4月1日から、翌年3月31日までの1年間で前納制になっています。
学生会員からの入会は日本歯科衛生士会入会金が免除となります。

入会金 2,000円 年会費 7,000円

*都道府県歯科衛生士会ごとの会費が加わります。金額については各事務局にお問い合わせください。

表紙写真: 神奈川歯科大学短期大学部



お便りお待ちしております

楽しい紙面作りのために、皆さまのご意見や、学生生活
の中でのさまざまな情報をお寄せください。

〒169-0072

東京都新宿区大久保2-11-19 日本歯科衛生士会「学生だより」編集係

TEL:03-3209-8020 FAX:03-3209-8023

<http://www.jdha.or.jp/>